

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公開番号】特開 2007-207372 (P2007-207372A)

【公開日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報 2007-031

【出願番号】特願 2006-26565 (P2006-26565)

【国際特許分類】

G 1 1 B 33/08 (2006.01)

G 1 1 B 17/051 (2006.01)

G 1 1 B 25/04 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 33/08 E

G 1 1 B 17/04 3 1 3 C

G 1 1 B 17/04 3 1 3 S

G 1 1 B 25/04 1 0 1 L

G 1 1 B 25/04 1 0 1 P

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 24 日 (2008.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シャーシ外装を構成するベース本体と蓋体と、
前記ベース本体にトラバースベースと、
前記トラバースベースにスピンドルモータとピックアップと、
前記トラバースベースを前記ベース本体側と前記蓋体側との間で変位させるカム機構と、
前記カム機構が設けられたメインスライダーとサブスライダーとカムレバーとを有し、
前記カムレバーに弾性部材を設け、
前記メインスライダーと前記サブスライダーは、前記スピンドルモータの側方に位置する
ように設け、前記メインスライダーを、前記カムレバーによって前記サブスライダーと連
結し、前記カムレバーは、前記メインスライダーの移動によって動作し、前記サブスライ
ダーを移動させることによって前記トラバースベースを変位させ、ディスクの再生時には
前記弾性部材が前記トラバースベースに当接し、前記トラバースベースの変位動作時には
前記弾性部材が前記トラバースベースから離間することを特徴とするスロットイン型ディ
スク装置。

【請求項 2】

前記カムレバーの回転軸が前記スピンドルモータの回転軸と平行であり、前記カムレバーの回転によって、前記弾性部材が前記トラバースベースの側面に当接することを特徴とする請求項 1 に記載のスロットイン型ディスク装置。

【請求項 3】

前記弾性部材は、前記スピンドルモータを中心に前記ピックアップが稼動する反対側に設けたことを特徴とする請求項 1 に記載のスロットイン型ディスク装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

請求項 1 記載の本発明のスロットイン型ディスク装置は、シャーシ外装を構成するベース本体と蓋体と、前記ベース本体にトラバースベースと、前記トラバースベースにスピンドルモータとピックアップと、前記トラバースベースを前記ベース本体側と前記蓋体側との間で変位させるカム機構と、前記カム機構が設けられたメインスライダーとサブスライダーとカムレバーとを有し、前記カムレバーに弾性部材を設け、前記メインスライダーと前記サブスライダーは、前記スピンドルモータの側方に位置するように設け、前記メインスライダーを、前記カムレバーによって前記サブスライダーと連結し、前記カムレバーは、前記メインスライダーの移動によって動作し、前記サブスライダーを移動させることによって前記トラバースベースを変位させ、ディスクの再生時には前記弾性部材が前記トラバースベースに当接し、前記トラバースベースの変位動作時には前記弾性部材が前記トラバースベースから離間することを特徴とする。

請求項 2 記載の本発明は、請求項 1 に記載のスロットイン型ディスク装置において、前記カムレバーの回転軸が前記スピンドルモータの回転軸と平行であり、前記カムレバーの回転によって、前記弾性部材が前記トラバースベースの側面に当接することを特徴とする。

請求項 3 記載の本発明は、請求項 1 に記載のスロットイン型ディスク装置において、前記弾性部材は、前記スピンドルモータを中心に前記ピックアップが稼動する反対側に設けたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明の第 1 の実施の形態によるスロットイン型ディスク装置は、シャーシ外装を構成するベース本体と蓋体と、ベース本体にトラバースベースと、トラバースベースにスピンドルモータとピックアップと、トラバースベースをベース本体側と蓋体側との間で変位させるカム機構と、カム機構が設けられたメインスライダーとサブスライダーとカムレバーとを有し、カムレバーに弾性部材を設け、メインスライダーとサブスライダーは、スピンドルモータの側方に位置するように設け、メインスライダーを、カムレバーによってサブスライダーと連結し、カムレバーは、メインスライダーの移動によって動作し、サブスライダーを移動させることによってトラバースベースを変位させ、ディスクの再生時には弾性部材がトラバースベースに当接し、トラバースベースの変位動作時には弾性部材がトラバースベースから離間するものである。本実施の形態によれば、カムレバーの動作を利用するために、ディスクの再生時にのみ弾性部材をトラバースに当接することができ、トラバースベースの再生時の微振動を防止することができるとともに、トラバースベースの変位動作に影響を与えることがない。

本発明の第 2 の実施の形態は、第 1 の実施の形態によるスロットイン型ディスク装置において、カムレバーの回転軸がスピンドルモータの回転軸と平行であり、カムレバーの回転によって、弾性部材がトラバースベースの側面に当接するものである。本実施の形態によれば、トラバースベースの側面から弾性部材を当接させることで、カム機構に設けているクリアランスに対して効果が高い。

本発明の第 3 の実施の形態は、第 1 の実施の形態によるスロットイン型ディスク装置において、弾性部材をスピンドルモータを中心にピックアップが稼動する反対側に設けたものである。